



KEIO SDM

システムデザイン・マネジメントで未来を創る

慶應義塾大学大学院SDM研究科公開シンポジウム

「SDGs(Sustainable Development Goals、持続可能な開発目標)」が多様な課題を提起する中、新たなアイデアや技術、方法に基づくソリューションが求められています。課題を解決するシステムをデザインし、マネジメントすることを目指すシステムデザイン・マネジメント(SDM)研究科が、最先端の研究・社会実践を行われている各界のリーダーをお招きし、意見交換を行うシンポジウムを開催します。

日時:2020年2月22日(土) 13時 開場

第1部(13時30分～)「地球環境とエネルギーの未来を創る」

講演、パネル・ディスカッション、質疑

第2部(16時00分～)「人と社会の未来を創る」

講演、パネル・ディスカッション、質疑

17時40分 終了予定

会場:慶應義塾大学日吉キャンパス独立館 DB201 教室

参加:参加費無料、定員200名、下記の研究科サイトよりお申込み下さい。

<http://www.sdm.keio.ac.jp/2020/02/04-164704.html>

お問い合わせ:慶應義塾大学大学院SDM研究科 sdm@info.keio.ac.jp



- 開会の挨拶 西村秀和教授(SDM 研究科 委員長)
神武直彦教授(SDM 研究科 総合司会)



●第1部 「地球環境とエネルギーの未来を創る」



講演者:山形与志樹氏(国立環境研究所地球環境研究センター 主席研究員)

「気候変動問題の解決に向けて一都市システムデザインの可能性」

国際学術プログラム Global Carbon Project 国際オフィス代表。気候変動、生態系サービス、土地利用—交通システム、都市レジリエンス等に関する研究プロジェクトを推進。



講演者:川崎昭如氏(東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻 特任教授)

「途上国の水災害レジリエンスの向上と貧困の削減に向けた研究と社会実装」

途上国開発における貧困や格差拡大に対して、防災・減災分野での問題解決を目指した研究開発や政策立案とその社会実装に取り組む。



講演者:立岩健二氏(東京電力原子力設備管理部 課長)

「『アンチ・フラジャイル』なエネルギー基盤の創出」

東京電力原子力技術部で次世代原子炉の安全設計等を担当。福島第一原子力発電所の事故対応を行った後、その教訓を踏まえた原子力発電所の安全対策を推進。

パネル・ディスカッション モデレーター:中野冠教授(SDM 研究科 副委員長)

●第2部 「人と社会の未来を創る」



講演者:寛裕介氏(issue+design 代表・健康マネジメント研究科 特任教授)

「ソーシャルデザイン—社会課題解決のクリエイティブアプローチ」

社会課題解決、地域活性化のためのデザイン領域の研究、実践に取り組む。グッドデザイン賞、日本計画行政学会・学会奨励賞、カンヌライオンズ(仏)他受賞多数。



講演者:持丸正明氏(産業技術総合研究所 人間拡張研究センター長)

「人間拡張技術とサービスデザインで拓くアクティブな生活」

専門は人間工学、バイオメカニクス、サービス工学。2019年より、ISO TC 324 国際議長。2014年より、消費者安全調査委員会・委員長代理。



パネル・ディスカッション 登壇者:西村秀和教授(SDM 研究科 委員長)

パネル・ディスカッション モデレーター:前野隆司教授(SDM 研究科)



- 閉会の挨拶 中野冠教授(SDM 研究科 副委員長)